

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	男女共同参画推進事業										事業コード	730302				
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち						政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立							
	施策名	1 男女共同参画の推進								施策コード	721					
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室						所属長	芦田 直也							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	122		頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	第4次福知山市男女共同参画計画「はばたきプラン2021」(配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画)(第3次)				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、福知山市男女共同参画推進条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	男女共同参画社会の実現をめざして、福知山市男女共同参画推進条例に基づき策定した「第4次福知山市男女共同参画計画 はばたきプラン2021」の趣旨を広く市民に啓発し、同計画に基づく施策を推進する。				
対象者	市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,693		1,664		2,030		1,863				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
		前年度繰越	0		0		0					
		次年度繰越	0		0							
	小計(①～③)		1,693		1,664		2,030		1,863			
予算財源内訳	① 一般財源	1,417		1,344		1,711		1,324				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	276		320		319		539				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
	決算情報	① 流充用額	0		0							
② 配当予算		1,693		1,664								
③ 執行額		936		959								
④ 執行率		55.3%		57.6%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.11	/	0.00	2.31	/	0.00			/		
	② 概算人件費	16,880		18,480								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		17,816		19,439								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	人権問題啓発事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	164		26	頁
									決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	審議会、委員会等の女性委員割合	%	29.8	/	30	30	/	30	30.6	/	30
	セミナー、講座への参加者数	人	689	/	1050	1218	/	1050	1116	/	1200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	講座等開催回数	回	12	/	16	10	/	16	12	/	16
	単位あたりコスト		70.9		93.6		79.9				
	情報紙発行部数	部	2000	/	2000	720	/	2000	0	/	2000
		単位あたりコスト	0.4		1.3						

男女共同参画推進事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・防災、性的自己決定権、性の多様性、職場におけるハラスメント、女性のマネー講座、男性の育休、女性の起業など、年齢や性別を問わず多くの市民に参加してもらえるよう、様々なテーマでセミナーを開催した。 ・セミナーのテーマ選定にあたっては、福知山市男女共同参画計画の内容と、社会情勢や法改正を考慮し、タイムリーなものを選んだ。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・セミナー開催にあたっては、国府の補助金を活用し、コストを削減している。 ・セミナーについては、平日の日中だけでなく、土日や平日の夜間にも開催し、より多くの人に参加してもらえるように日時の工夫をした。 ・DV防止啓発の街頭啓発は、市が事務局を務める市民団体のネットワーク(はばたきネットワーク)と協働で取り組んだ。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・多くの市民に男女共同参画について関心をもってもらえるよう、様々なテーマでセミナーを開催した。 ・セミナーの開催にあたっては、保育サポーターの準備や子ども同伴を可能にし、参加しやすい工夫をした。 ・情報誌の発行が啓発に繋がるか、効果の確認が困難であり、令和4年度は情報誌を作成しなかった。 ・成果実績の「審議会、委員会等の女性委員割合」は、年度ごとに庁内に照会を行い測定している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・男女共同参画計画に掲げる目標に基づき様々なセミナーを開催しているが、啓発のみとなっており、参加者の意識や行動の変容に繋がっているかが測定できていない。 ・情報誌については、発行がセミナーへの参加に繋がるか、効果の確認が困難である。		
改 善 策	・セミナーについては、アンケートで受講前と後での意識の変化を問う。 ・情報誌は、セミナーに合わせて内容を絞る、内容に沿って配布先を変えていくといった工夫を行い、セミナーのアンケートにて集客に効果があるかを確認する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	・講演方式のセミナーだけでなく、参加者が考え、発言する機会があるセミナーを増やしていく。 ・参加者数だけでなく、セミナーを受けての意識変容や満足度により、評価を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	男女共同参画保護救済事業										事業コード	730303				
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち						政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立							
	施策名	1 男女共同参画の推進								施策コード	721					
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室						所属長	芦田 直也							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	122		頁
計画期間	開始年度	平成13年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	第4次福知山市男女共同参画計画「はばたきプラン2021」、配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画(第3次)				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、福知山市男女共同参画推進条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	DVや性暴力などの女性に対する暴力は重大な人権侵害であり、被害者の保護・救済と暴力の防止に向けて積極的な予防啓発を推進する。併せて、相談体制の充実や関係機関との連携強化を図り、迅速かつ適切な支援を実施する。				
対象者	市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,798		1,803		1,354		1,427	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0					
小計(①～③)		1,798		1,803		1,354		1,427	
予算財源内訳	① 一般財源	1,798		1,803		1,354		1,427	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	△ 9		0					
	② 配当予算	1,789		1,803					
	③ 執行額	1,231		1,250					
	④ 執行率	68.8%		69.3%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.34	/	1.00	1.19	/	0.00	/	
	② 概算人件費	5,220		9,520					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,451		10,770					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		
								決算附属資料	
								頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	専門相談人数	人	61	/	74	52	/	74	46	/	74
	(女性カウンセラー、法律)		/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	女性の相談人数(職員対応)	人	131	/	150	100	/	150	129	/	150
	単位あたりコスト		1.6		41.0		9.7				
	単位あたりコスト		/		3		/		/		男女共同参画保護救済事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・女性相談(専門カウンセラー)22回、性別にこだわらない相談(専門カウンセラー)4回、男性のための電話相談(男性の臨床心理士)4回、女性法律相談(女性の弁護士)8回を実施した。 ・専門相談のほか、随時職員が相談に対応し、必要に応じて庁内の関係部署、外部の関係機関と連携をとり、支援を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・専門相談については、事前の予約がない時間帯も相談員が待機をしており、当日の相談があれば市職員ではなく相談員に対応いただいている。 ・子ども政策室による家庭訪問時に相談案内の配布を依頼した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・相談会の案内について、市のホームページ内の掲載場所を変更(人権推進室の最初に出てくるように)し、ホームページで検索をした人が見つけやすくなるよう工夫をした。 ・市や市民交流プラザのトイレだけでなく、令和4年度は公立大学の掲示板にも相談のチラシを掲示し、相談が少ない若年層にも知ってもらえるよう取り組んだ。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・庁内外の関係部署や関係機関との月1回の定例会議や、日常的な情報共有を通し、支援を実施できた。 ・女性相談や女性の法律相談の利用件数は5～6割であり、経年では徐々に減少している。 ・男性の電話相談の利用が少ない。(12枠に対して1人) ・複雑化複合化した相談にも対応できるよう、専門相談員の配置や、職員のスキルアップが必要。		
改 善 策	・相談チラシの配布先は公共機関が中心であったが、商業施設や子ども食堂といった多くの市民が集まりそうな場所にも配布をする。 ・男性の電話相談は利用が少ないので、相談員に曜日や時間帯を変更できないか、相談する。(以前は土曜日にも開催していたため変更が可能か、17時30分～19時としている時間を遅くずせないか。) ・職員のスキルアップのために、京都府北部家庭支援センターへの相談や、支援機関とのケース検討を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	・平日の日中に開催していた女性カウンセラーによる専門相談を、土曜日にも開催する。 ・男性の電話相談は、曜日や時間帯変更が可能か相談する。 ・職員のスキルアップをめざし、関係機関とのケース検討や、研修に参加する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 他事業を統合	☐ 廃止/休止 (統合事業名:)	☐ 予算拡充 ()	☐ 予算縮減 ()	☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---	---	--------------------------------------	--------------------------------------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	婦人教育事業										事業コード	630235				
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち						政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立							
	施 策 名	1 男女共同参画の推進								施策コード	721					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課						所属長	岸見 貴志							
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	248		頁
計画期間	開始年度	昭和21年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名					R5現在の状況		継続中		
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	人権尊重を基盤にして、男女共同参画社会の実現に向けて、学習・実践を進める。					
対象者	婦人会会員		対象者数	139	単位あたりコスト	10.8
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	351		351		351		361						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
		前年度繰越	0		0		0							
		次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		351		351		351		361						
予算財源内訳	① 一般財源	351		351		351		361						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 7		△ 6										
	② 配当予算	344		344										
	③ 執行額	274		344										
	④ 執行率	79.7%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.02	/	0.40	/						
	② 概算人件費	560		1,160										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		834		1,504										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	市民参加者数	人	251	/ 300	250	/ 300	447	/ 300	/	300	300
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	活動回数	回	6	/ 8	6	/ 8	8	/ 8	/	8	8
		単位あたりコスト	39.2		45.7		43.0				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・連合婦人会の会員が各地域の役員や市の各種団体などの委員として活動方針や運営についての決定等にかかわった。女性の立場からの意見が反映されることは重要である。 ・人権問題や環境問題、防災活動など、今日的課題に係わる研修は社会参加への入り口となる学びの場であった。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・補助金だけでなく、受益者も会費や参加費等を負担しながら事業運営を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・3年ぶりに開催された「母の日大会」「活動実践フォーラム」を含め、生涯学習講座は計画していた年間8回の事業を全て実施できた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○女性団体として、市の各種事業に積極的に携わり、活動を推進する力となっている。 ○人権問題や地球温暖化対策、防災研修等の今日的課題解決に向けた研修は、女性の資質及び地位向上に役立つものとなっている。 ○万全なコロナ対策のもと、計画どおり事業を行い、会員のよいコミュニケーションの場となった。		
改 善 策	○今後も、ウィズコロナの新たな日常の中でコロナ対策を徹底し、計画している事業を実施していく。会員のコミュニケーションの場を確保することにより、会員及び地域の活力を取り戻していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	婦人会活動を地域活性化の礎とし、研修等を通して、女性の生涯学習活動を充実させていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---